

科目名：看護技術論Ⅵ		必	1 単位
(Fundamentals of Nursing Skill Ⅵ) 履修年次/時期：2 年次 前期 授業形態：講義・演習 担当教員：飯塚雅子 北村容子 横正奈緒美 (全員実務経験あり)			
学修目的	1 年次での日常生活支援技術の学習を経て、診療補助業務に関わる技術を学修する。その中で、日進月歩の最新医療技術に対応できる能力を養い、さらには身体侵襲度が高くより安全性が要求される技術も学んでいく。最後には、看取りの看護についても学修する。 DP2 (1) (2) および CP2、3、4 に関連する。 科目 No.KNz-204		
到達目標	①呼吸状態をアセスメントし、状態に応じた適切な援助方法について述べることができる。 ②与薬・輸血の目的・用途・方法がわかり、安全で適切な与薬・輸血を行うための留意点について述べるができる。 ③静脈血採血、筋肉内注射を原理・原則に沿って実施できる。 ④輸液療法の目的がわかり、安全で適切な輸液療法を行うための留意点について述べるができる。 ⑤救急救命処置の意義と目的がわかり、一次救命処置と二次救命処置の概要について述べるができる。 ⑥検査・治療における看護師の役割について述べるができる。 ⑦看護における葬送儀礼の意味について述べるができる。 ⑧死亡による身体変化がわかり、死後の処置の方法について述べるができる。		
授業概要	診療に伴う対象の苦痛や不安を理解し、安心して診療を受けられるような知識や技術を学ぶ。呼吸・循環を整える技術、与薬、救命救命処置、症状・生体機能管理、診療・検査・処置の介助、看取りの援助を学ぶ。		
評価方法	筆記試験 80% 課題 20% (詳細は授業内で提示する) 試験に対するフィードバックは掲示で行う。		
予習・ 復習時間	【予習】 0.5 時間 【復習】 0.5 時間		
教科書	系統看護学講座 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ 医学書院 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 第2 版、任 和子ほか、医学書院		
参考書	必要時、提示する。		
オフライン 連絡先	飯塚雅子 3 号館 3 階研究室 iizuka.masako@kdu.ac.jp 不在時はメールでお願いします 北村容子 3 号館 3 階共同研究室 y.kitamura@kdu.ac.jp 同上 横正奈緒美 3 号館 3 階共同研究室 yokosho@kdu.ac.jp 同上		